

昼生小だよ

令和7年9月5日
No.9



↑昼生小HP

全国学力・学習状況調査、みえ・スタディチェックの結果より

4月に実施した6年生対象の「全国学力・学習状況調査」5月に実施した4・5年生対象の「みえスタディ・チェック」の調査概況及び児童の学習状況や生活習慣についてお知らせします。なお、それぞれの調査で測ることができるのは、あくまでも「学力」の一部、学校教育活動の一側面を示すものでしかありませんが、調査結果を一つの指標として、学校では分析・検証し、子どもたちの確かな学力・豊かな心の育成に向け、引き続き指導に取り組んでいきます。

6年全国学力・学習状況調査平均正答率			
	国語	算数	理科
昼生小	73.0	71.0	64.0
三重県	66.0	57.0	56.0
全国	66.8	58.0	57.1

5年みえスタディ・チェック平均正答率			
	国語	算数	理科
昼生小	56.3	74.3	54.5
三重県	55.2	55.8	55.1

4年みえスタディ・チェック平均正答率		
	国語	算数
昼生小	73.3	72.7
三重県	58.7	60.9

<平均正答率の結果より>

全国学力・学習状況調査の各教科の平均正答率は、どの教科も、三重県および全国の平均を上回っています。また、4・5年生が実施したみえスタディ・チェックも、理科以外は三重県の平均を上回っています。そして、無回答率は低く、全員が最後まであきらめずに問題に取り組もうとする姿勢がうかがえました。

<正答率の低かった問題>

- 【6年国語】・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を選ぶ問題
・文章と図表などを結び付け、必要な情報を見つけて、適切な語句を選ぶ問題
- 【6年算数】・ $0.4+0.05$ について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く問題
- 【6年理科】・水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識をもとに選ぶ問題
・土の粒の大きさによる水のしみこみ方について、実験結果やまとめから、次の実験結果を予想し、その理由も選ぶ問題
・電気を通すものと通さないものを見分け、ベルが鳴る回路を選ぶ問題
・レタスの種子の発芽の結果から、発芽条件について新たな問題を見だし、表現する問題
- 【5年国語】・正しい漢字を選ぶ問題（「新しく」「全く」）
・文の主語を見つける問題
・文のつながりを判断する問題
・文意に適した資料を選択する問題
- 【4年国語】・文の要点をとらえる問題
・文の主語を見つける問題
- 【5年算数】・四捨五入して百の位までのかい数を求める問題
・二次元表の読み取りの問題
- 【4年算数】・繰り下がりのある減法（ $806-9$ ）の計算
・何倍かを求める問題
- 【5年理科】・調べたことをもとに次の課題を見つける問題
・桜の開花基準にかかわる問題
・気温の正しい測り方の問題
・水の変化（水蒸気、つゆ）にかかわる問題
・水の温まり方にかかわる問題
・電流の向きと強さにかかわる問題

☆課題解決に向けて①（学習面）

◎重点取組として

【国語】既習漢字や語句、主語・述語の定着。

【算数】言葉や式などを用いて考えや理由を書く。

- ・授業の中で、自分の考えなどを書く場面を設定する。
文字数や語句を指定して、文章を書く活動を行う。
学習のふり返りを、3行以上書く。 国語科確認テストの活用
- ・式を立てるとき、問題の場面を図や絵、言葉に表して、その状況を説明する活動を充実する。
- ・複数の資料やデータから考えを導き出したりする学習を取り入れる。
- ・補充学習等で、月2回以上、前学年までの既習の文法や漢字、復習プリントに取り組む。
- ・AI型ドリル（キュピナ）やプリント等を活用し、これまでの学年や単元で学習した内容の復習に継続的に取り組む。
- ・学調やみえスタで明らかになった苦手とする単元や内容について各学年で系統的に指導する。
- ・Kameyama Study Week 期間に、学習内容定着に向けて復習を中心に取り組む。

＜生活や学習の様子について～全国学調の児童質問紙調査結果（6年）より＞

※ 数値は、「当てはまる・している」「どちらかといえば、当てはまる・している」と回答した割合の合計%

質問項目	本校	三重県	全国
朝食を毎日食べていますか	88.9	92.9	93.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.7	80.9	81.9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	100	91	91
自分には、よいところがあると思いますか	88.9	85.1	86.9
将来の夢や目標を持っていますか	88.9	82.3	83.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100	97.6	97.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	100	82	81.3
学校に行くのは楽しいと思いますか	100	85	86.5
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	100	69.5	70.6
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか *1時間以上の回答	55.5	50.3	54
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか *1時間以上の回答	11.1	13.5	15.2

○起床時刻をはじめ、基本的な生活習慣はおおむね良好です。

○「学校に行くのは楽しい」の回答が100%であり、自分自身を肯定的に捉え、前向きな生活を送っている様子や正義感をもち、人にやさしく接しようとする態度がうかがえます。

○地域や社会への参画意識が、たいへん高い状況です。普段から地域の方々に支えていただき、地域と家庭・学校の連携の中で、様々な人とふれあう機会を大切にしていることの現れであると考えられます。

●4・5年生が行った「みえスタ生活アンケート」結果も含めて分析すると、学習時間（平日・休日）や読書量の2極化の傾向が見られるので、スマホやゲーム等の利用の仕方も含め、学習に集中して取り組める習慣づけに今後も取り組んでいく必要があります。

☆課題解決に向けて②（生活面）

◎重点取組として

自己肯定感を高める取り組みをすすめ、土台となる『安心して学べる環境づくり』に努める。

- ・学校行事（縦割り班活動）や学級活動、児童会活動などを通して、達成感をもたせ自己有用感を育む。
- ・地域と連携した体験活動やキャリア教育を推進する。（お菓子の商品開発や歌のプレゼントなど）
- ・個に応じた指導を心がけるとともに教育相談を定期的実施し、子ども理解を深める。
- ・PTA 活動とも連携して、子育てに関する教育懇談会を開催する。